ミライアル株式会社
2014年1月期　第2四半期決算説明資料

2013年９月９日






ミライアル株式会社

目次

2014年1月期　第2四半期累計期間決算概要.....2

2014年1月期　第2四半期会計期間決算概要..... 10

2014年1月期業績予想 13

弊社を取り巻く業界環境 16

トピックス 18

今後の経営戦略 21

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

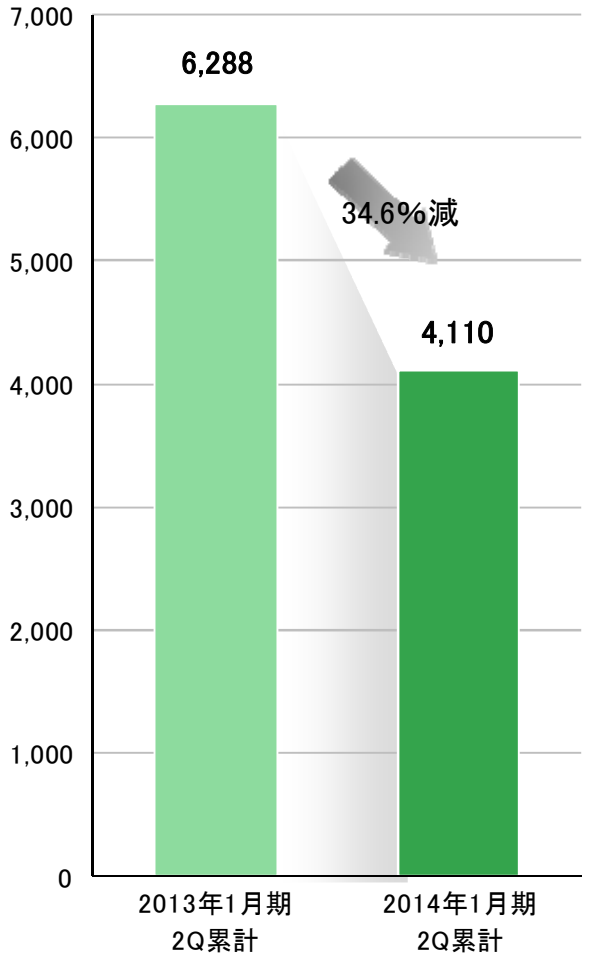
2014年1月期 第2四半期累計期間決算概要

1. 売上高/経常利益の比較（連結）

- 売上高は、プラスチック成形事業における主要販売先である半導体業界が全体として緩やかに回復はしたものの、当初想定に対しては低調に推移していること、デバイスメーカーによる需要の濃淡が必ずしも当社製品の需要に結び付かなかったこと等の影響を受け、前年同期比で大幅な減収となりました。成形機事業は、昨年後半および今期前半の受注減の影響により減収となりました。その結果、前年同期比34.6%減となりました。
- 経常利益は、コスト削減を図りましたが、稼働率の低下、新製品である450mm関連製品における減価償却費等の負担増があり、減益となりました。

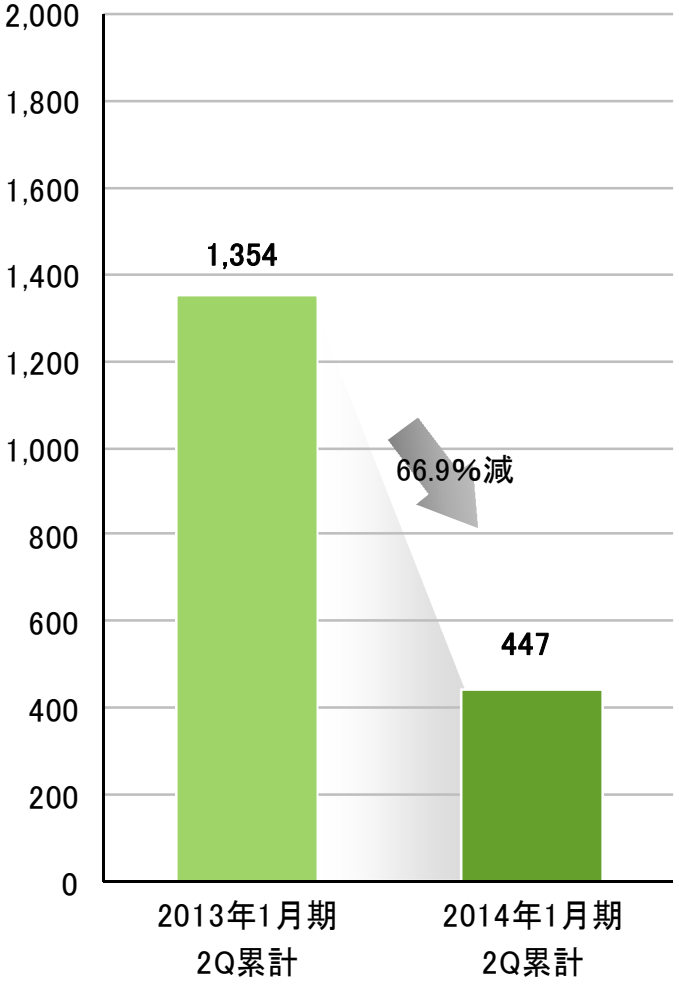
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2014年1月期　第2四半期累計期間決算概要

連結業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第2四半期累計		2014年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	6,288	4.5	4,110	△34.6
売上総利益	2,392	10.3	1,202	△49.8
営業利益	1,322	12.0	368	△72.2
(営業利益率)	21.0		9.0	
経常利益	1,354	1.0	447	△66.9
税引前当期純利益	1,261	△1.7	451	△64.2
当期純利益	869	34.6	301	△65.3
設備投資	352		224	
減価償却	194		294	
研究開発費	60		71	
純資産	16,871		17,025	
総資産	20,986		19,887	

個別業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第2四半期累計		2014年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	5,428	7.2	3,639	△33.0
売上総利益	2,107	10.9	1,071	△49.1
営業利益	1,316	11.5	376	△71.4
(営業利益率)	24.3		10.3	
経常利益	1,338	4.9	652	△51.2
税引前当期純利益	1,327	7.2	654	△50.7
当期純利益	771	9.3	506	△34.4
設備投資	362		224	
減価償却	177		286	
研究開発費	37		52	
純資産	16,493		16,827	
総資産	19,880		19,135	

※経常利益以下の利益については、連結子会社からの配当金が影響しております。

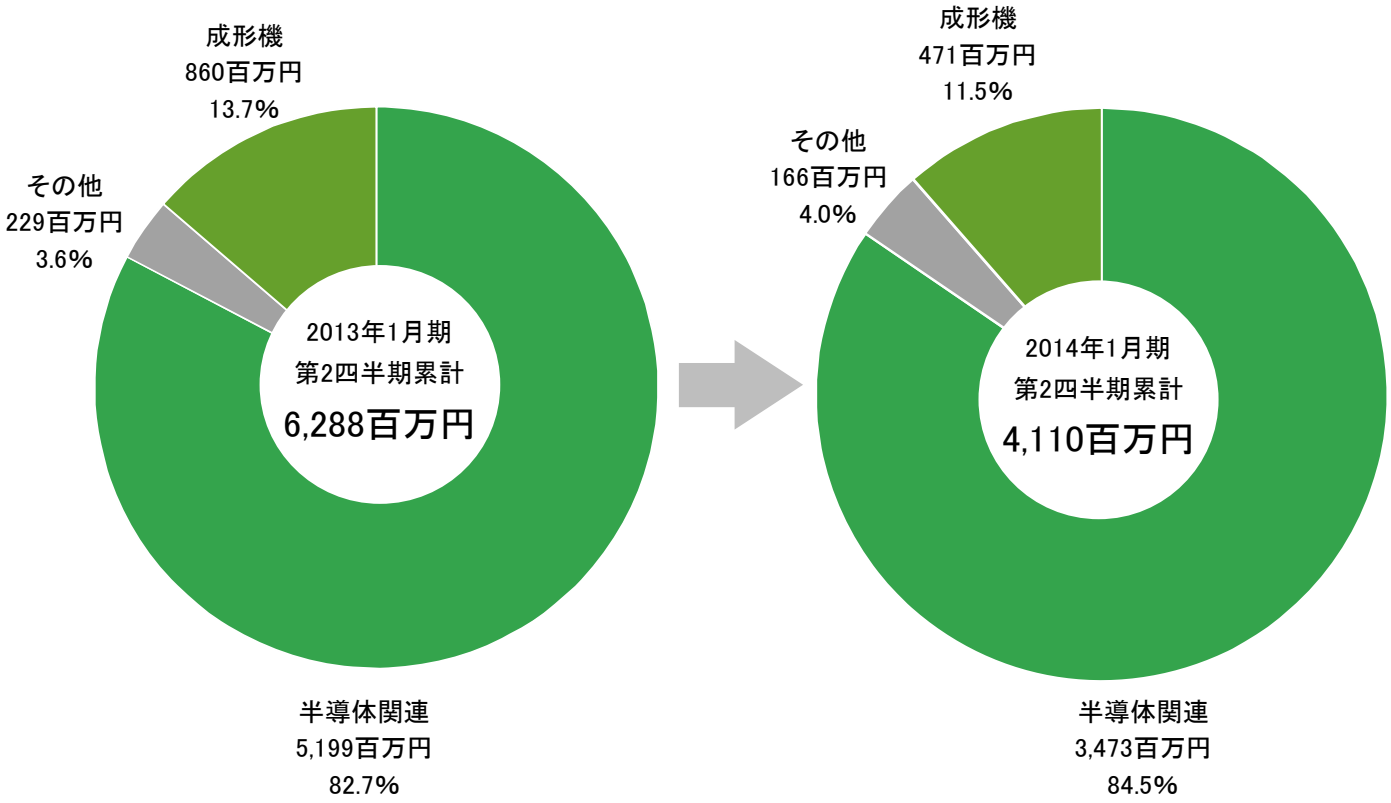
Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 事業別売上高の比較

事業別売上高（連結）

■ プラスチック成形事業
- 半導体関連事業は、33.2%減の3,473百万円。
- その他事業は、 27.6％減の166百万円。

■ 成形機事業
- 成形機事業は、45.2％減の471百万円。

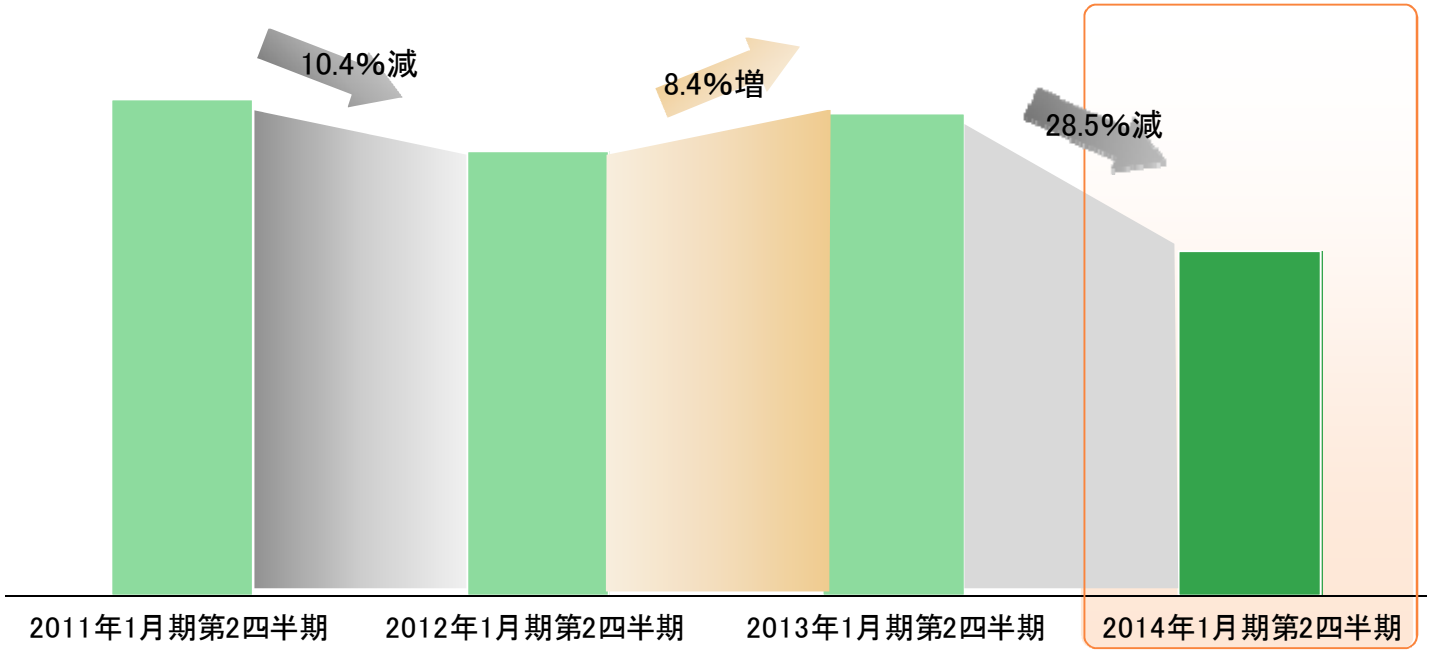


Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. 半導体関連製品事業の業績

■ 出荷容器は前年同期比28.5%減、工程内容器は、前年同期比63.7%減となっております。

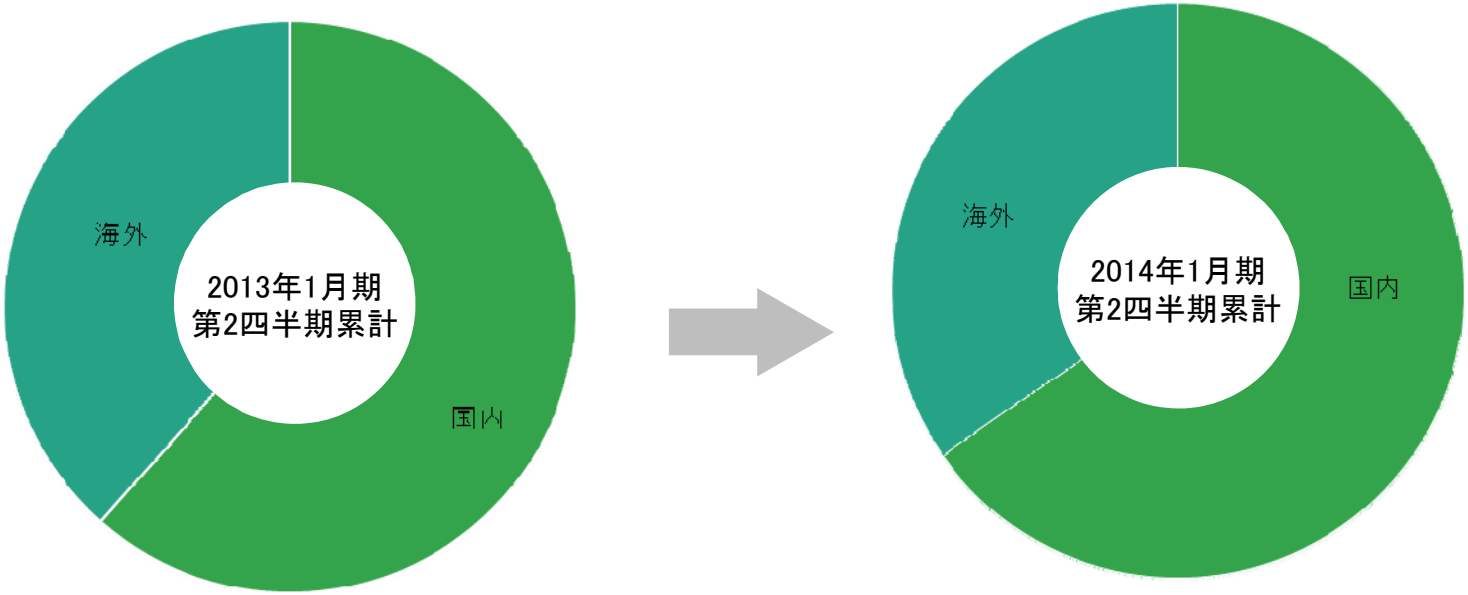
シリコンウエハ出荷容器　売上高の推移



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

5. 地域別売上実績シェア

弊社地域別売上実績シェアの動向

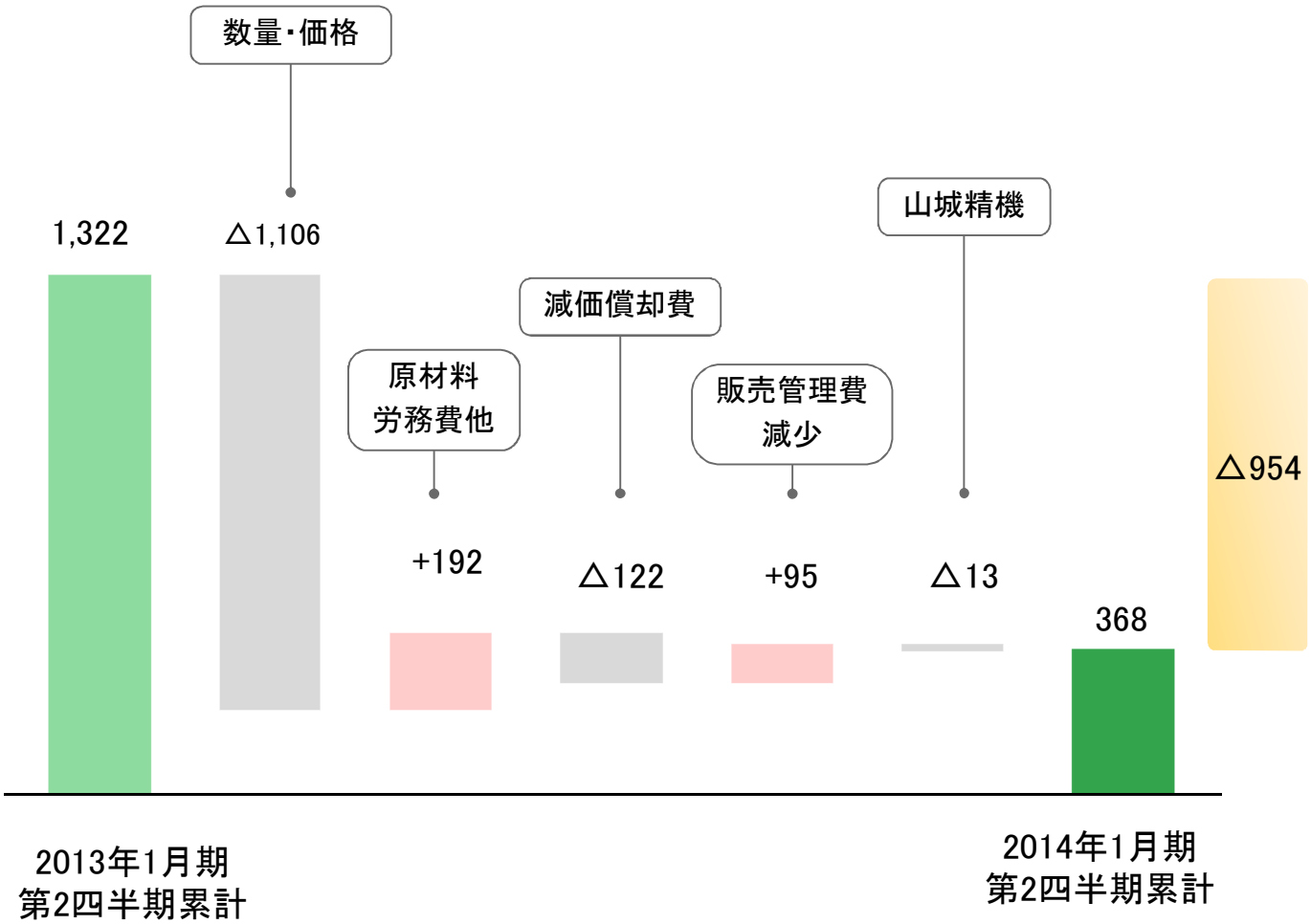


Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

6. 営業利益増減要因分析（連結）

対前年同期比

（単位：百万円）



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

（ご参考）キャッシュフロー（連結）

キャッシュフロー

（単位：百万円）

	2013年1月期 第2四半期累計	2014年1月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュフロー	791	161	△629
投資活動によるキャッシュフロー	△48	1,490	1,538
財務活動によるキャッシュフロー	△365	△467	△102
有利子負債減少	△61	△62	△1
配当金支払	△303	△404	△101
現金及び現金同等物期末残高	5,694	6,538	844

■ 2014年１月期第２四半期累計における投資活動によるキャッシュフロー1,490百万円は、主に固定資産の取得による支出390百万円があったものの、3ヶ月超１年未満の定期預金を振替えた事による純増額1,800百万円によるものです。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

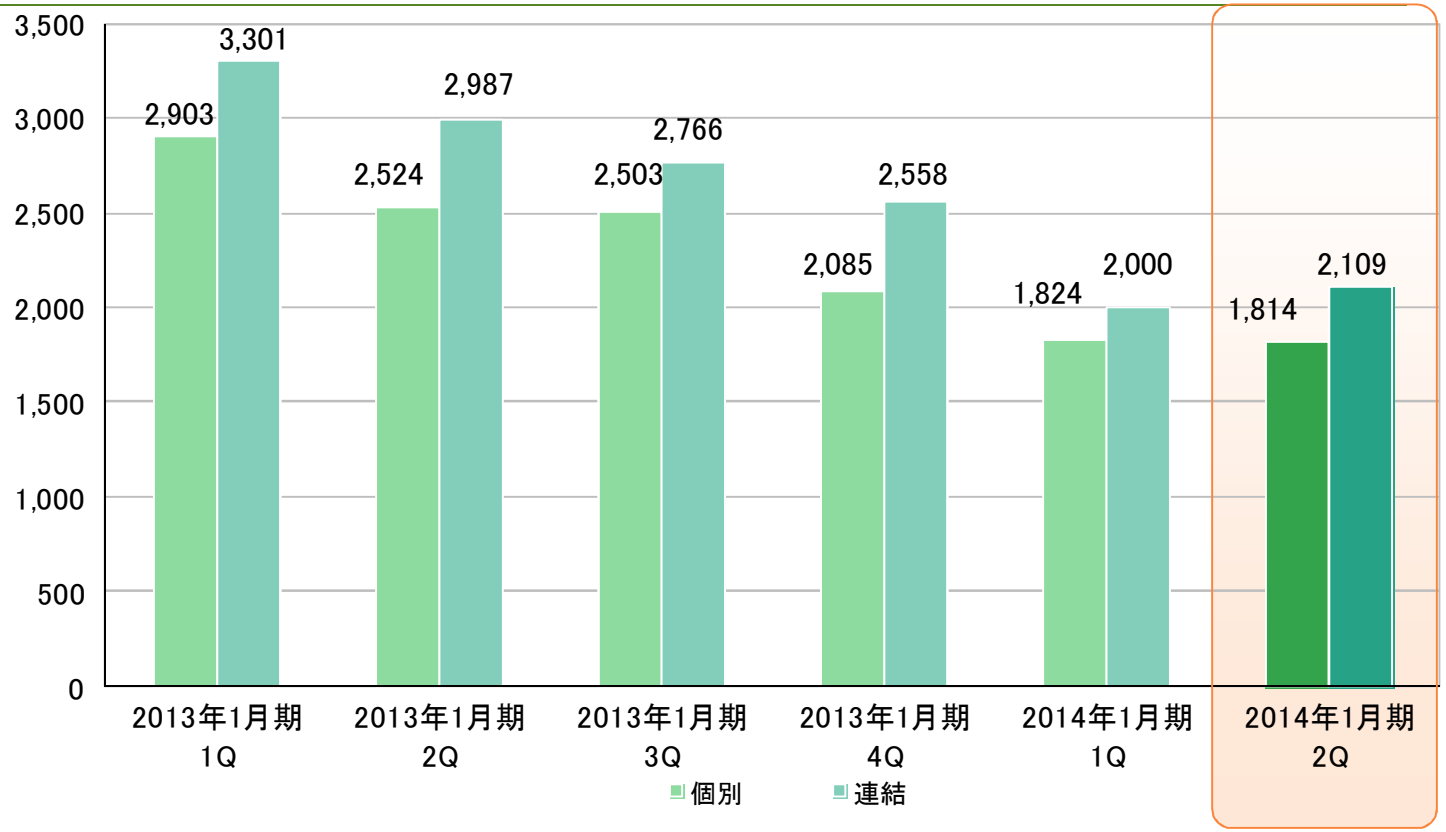
2014年1月期　第2四半期会計期間決算概要

1. 業績ハイライト

- 連結売上高は、1Qから5.4%増の2,109百万円でした。
- 個別売上高は、1Qから0.6%減の1,814百万円でした。
- ミライアル単体は、主力製品である300㎜シリコンウエハ出荷容器「FOSB」については、前年度後半からの在庫調整局面から回復の兆しは見えてきたものの減収となりました。利益面では、コスト削減を図りましたが、稼働率の低下、新製品である450㎜関連製品における減価償却費等の負担増があり減益となりました。
- 連結子会社である㈱山城精機製作所は、前四半期後半より受注回復傾向は見られたものの、昨年後半からの受注減の影響から減収となりました。利益面では、コスト削減と利益確保できる機種への選択と集中を進めてきましたが、受注の落ち込みにより減益となりました。

売上高推移（四半期毎）

（単位：百万円）

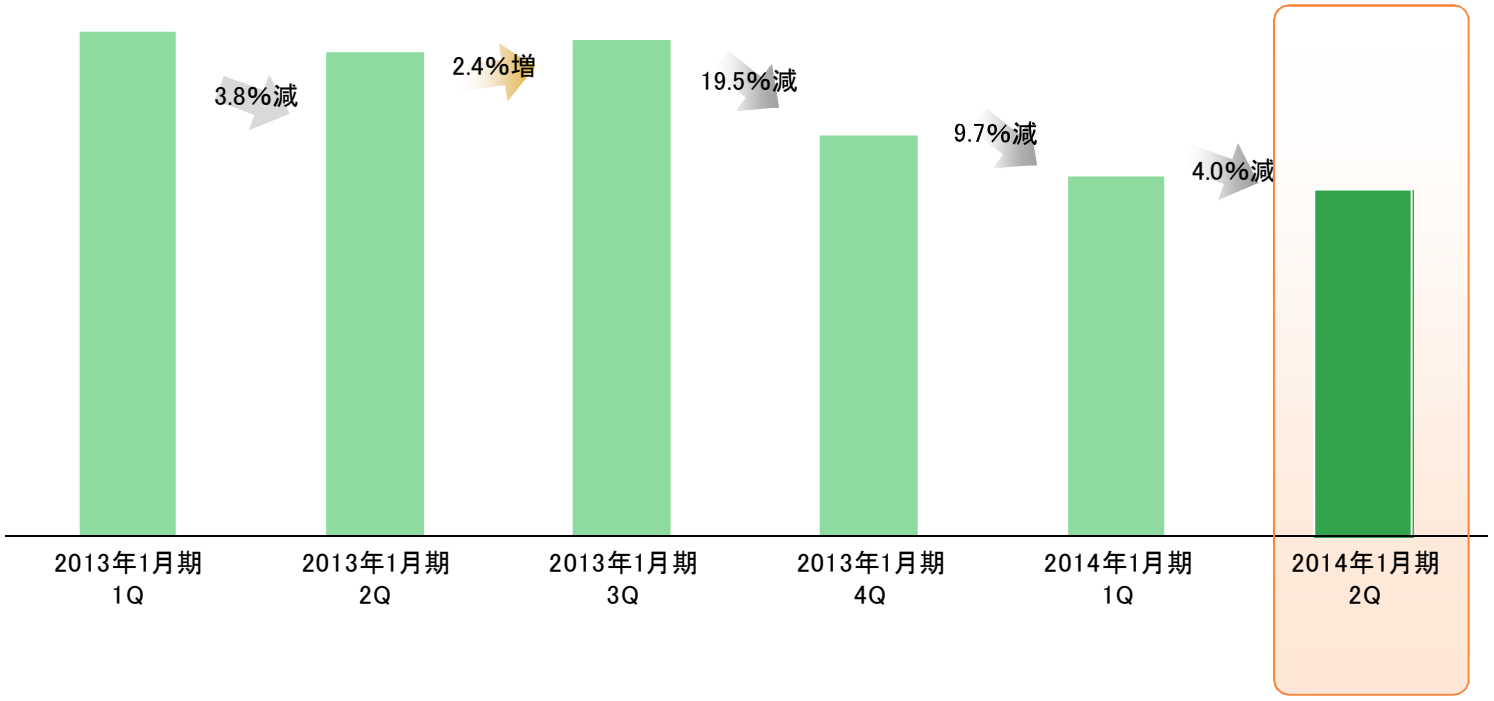


Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 半導体関連事業の業績

■ 出荷容器は、1Qから4.0％減となっております。

シリコンウエハ出荷容器　売上高の推移(四半期毎)



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2014年1月期業績予想

1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 半導体関連業界にて緩やかながらも回復の傾向が見られましたが、当初想定よりも回復のスピードが遅れています。
- デバイスメーカーによって需要の濃淡が異なるために、必ずしも当社製品の需要には結び付いていません。
- 半導体業界の成長率は微増の予想にとどまり、品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- リユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様で推移すると見込んでいます。

営業利益、経常利益

- 450mm生産設備の減価償却費負担、研究開発力強化のための材料ラボ設立、新製品開発のための設備投資を予定しており、減価償却費が増加する見込みです。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2013年1月期		2014年1月期(予)			
			2014年1月期 第2四半期累計			
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,613	△2.1	4,110	△34.6	8,900	△23.4
営業利益	2,203	△4.0	368	△72.2	830	△62.3
経常利益	2,275	△8.1	447	△66.9	950	△58.3
(当期)純利益	1,430	6.1	301	△65.3	610	△57.4
設備投資	991		224		905	
減価償却	536		294		662	

※今年度の配当金は、1株につき中間配当30円、期末配当30円の年間配当60円を予定しております。

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2013年1月期			2014年1月期(予)					
				2014年1月期 第2四半期累計					
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,014	86.2	△1.0	3,639	88.5	△33.0	7,670	86.2	△23.4
半導体関連	9,624	82.9	△0.1	3,473	84.5	△33.2	7,320	82.2	△23.9
その他	390	3.4	△19.6	166	4.0	△27.6	350	4.0	△10.4
成形機事業	1,598	13.8	△8.5	471	11.5	△45.2	1,230	13.8	△23.1
合計	11,613	100.0	△2.1	4,110	100.0	△34.6	8,900	100.0	△23.4

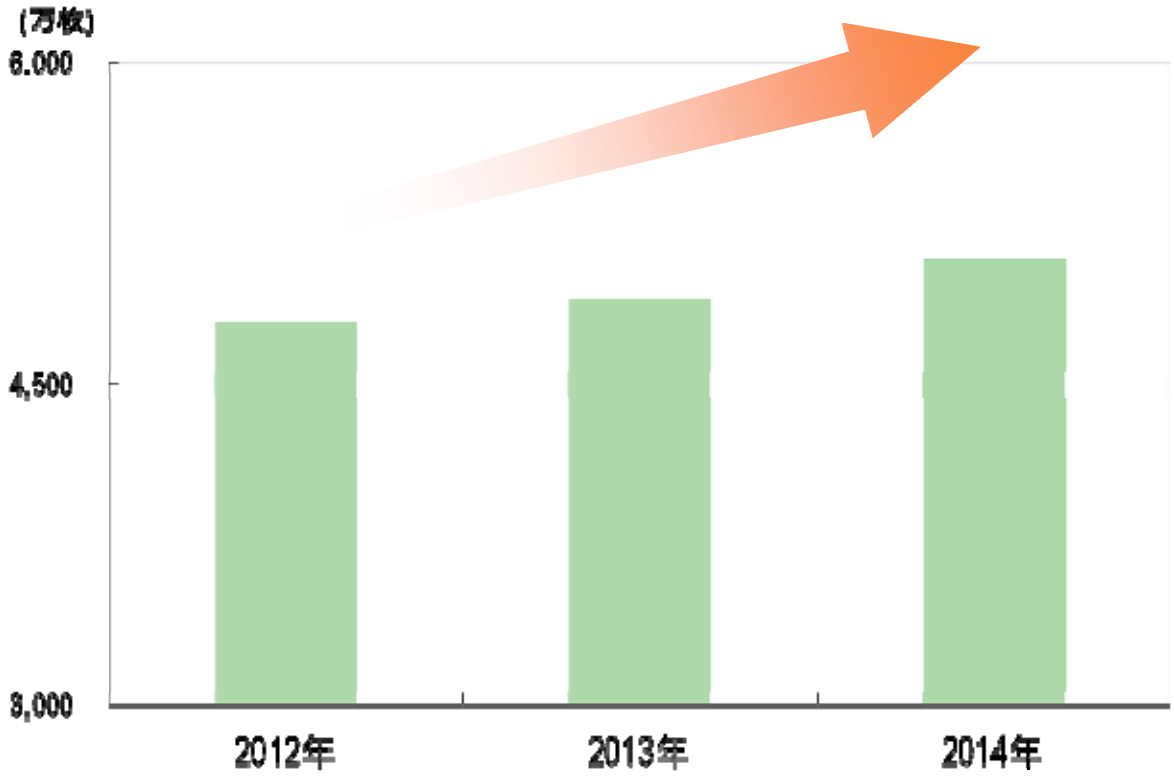
Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

弊社を取り巻く業界環境

シリコンウエハ市場の動向

- 弊社主力製品FOSBによって搬送される300㎜ウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。
- また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。

300㎜シリコンウエハ出荷数量予測



出所：弊社推測

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

トピックス

材料ラボの設置

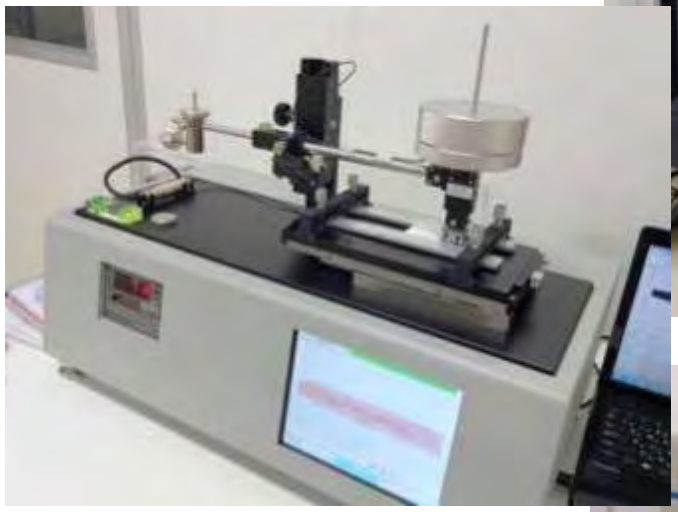
富の原工場に材料ラボを設置

■目的

■既存製品事業における
品質の向上

■樹脂事業拡大展開のための
材料開発・製品開発







■設備投資　1.5億円（第46期）

■減価償却　0.2億円（第46期下期）

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

メガソーラー設備の設置

住吉工場屋上にメガソーラー設備設置予定

■プラスチック成形メーカーとして環境負荷低減を目指す。

■1MWhソーラー発電

■今年秋　発電開始予定



着工中

■設備投資　2.9億円（第46期）

■減価償却　0.2億円（第46期下期）



完成予定図

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

今後の経営戦略

基本方針

1.現存事業の安定利益源化

コスト削減の徹底と品質の造り込みにより、市場でのポジションを維持･向上させてまいります。

■プラスチック成形事業

当社コア技術を見直し新製品開発や販売チャネル拡大に活かすとともに、現主力製品300㎜FOSBと同様、次世代450㎜ウエハ容器においても覇権の獲得を目指してまいります。

■成形機事業

汎用機、LIM機、TF機を主力とし、特殊装置も視野に入れ拡販に取り組むとともに、竪型成形機の特長を活かした成形事業に挑戦してまいります。

2.新たな収益源の構築

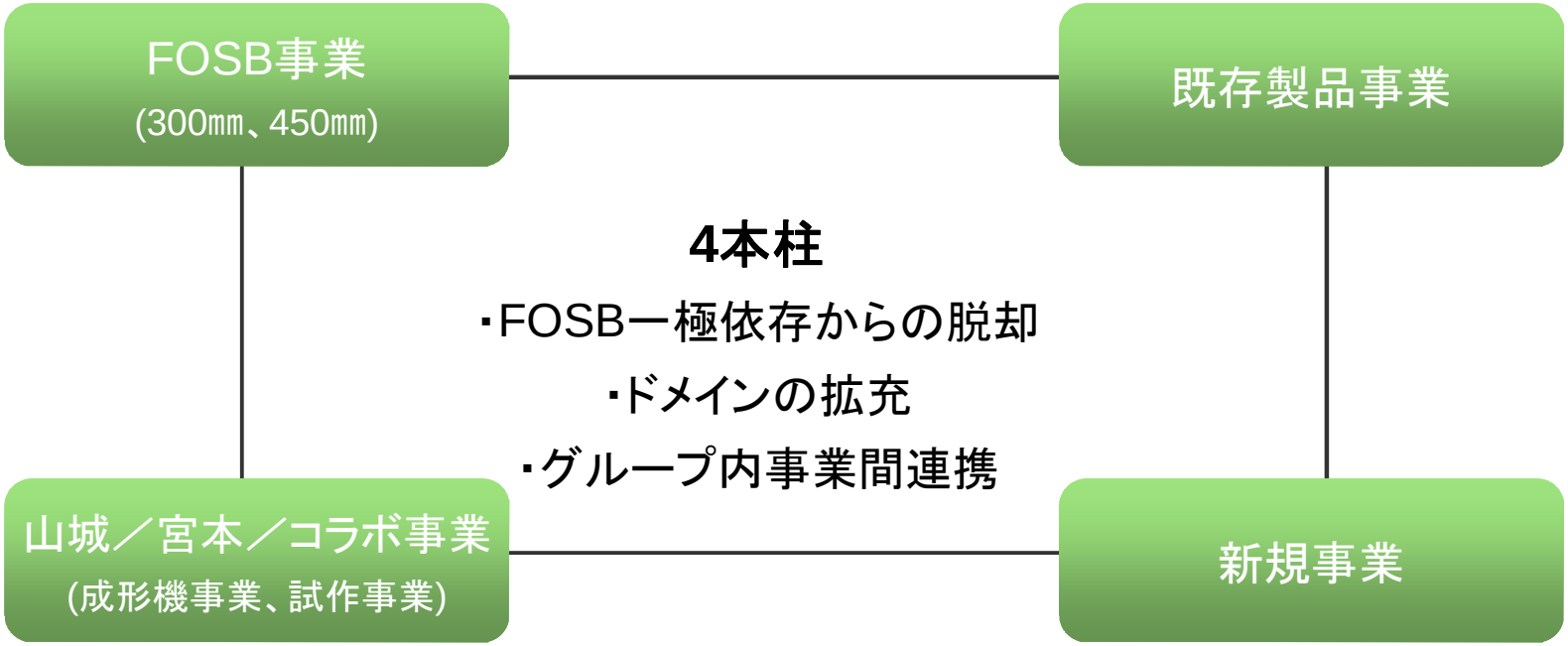
ミライアルグループのコア技術を活かした自社開発、M&Aや共同開発等、内外のリソースを有効的に活用し、新たな収益源となるべき新製品開発･新事業構築に取り組んでまいります。

3.グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組んでまいります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

ミライアルグループの目指す4本柱経営



現在、ミライアルグループは半導体関連製品事業に主軸を置いており、中でも300㎜FOSBを主力製品としております。また、次世代容器である450㎜FOSBに関しても、次世代の覇権を獲得すべく努めております。

このように、FOSBは弊社の大きな強みであり、同時に「FOSBに頼っている」という弱みでもあります。

こうした一極集中状態から脱却すべく、半導体業界の枠にとらわれない、グループの人的・物的資産を最大限に活かした新たな事業の展開に挑戦してまいります。また、既存事業においてコスト削減と品質向上による安定的な利益獲得を図り、新規事業挑戦への着実な土台を築いてまいります。

上記の経営目標を達成し、弊社の新たな時代を切り拓いていくステップとして、4本柱(FOSB事業、既存製品事業、山城／宮本／コラボ事業、新規事業)の機能化に取り組んでおります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社　経理部

電話：03-3986-3782　FAX：03-3986-3853　E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.